

## 脱ステ後は全身性に悪化 食事・漢方等に取り組むが余り効果がなかった。

27歳 H25.6.3～8.25 入院

乳幼児期から湿疹があり、学童期には四肢屈曲部にアトピー性皮膚炎が生じたが、市販の保湿クリームで対処していた。中学時代に近医を受診し、プロトピックを四肢屈曲部や顔、頸部を中心に全身に使用。その後、高校ではステロイド軟膏も一時期使用したが、高校2年生の時に脱ステし全身性に悪化。脱ステ後は食事や漢方等に取り組むが、余り効果がなかった。皮膚炎の状態は悪いながらもバイトしながら生活している。入院前の4～5年間は、春から夏に悪化する傾向があった。

経過 BSCの入浴時間も長く、熱心に取り組んだこともあり、マーカー・自覚症状ともにスムーズに改善しています。美容も取り入れ 女子力もアップ。自宅でBSCを継続しています。写真でも判るように、皮膚炎が改善すると皮膚の正常構造が回復し、皮膚に本来の張りや弾力性が戻ってきます。

	基準値範囲	2013/6/4	2013/7/3	2013/8/3	2013/8/19
TARC	450 以下	4297	1023↓	748↓	363↓
LDH	120～245	404	305↓	231↓	217↓
IgE	170 以下	3306	3353	2372↓	2370
好酸球	7%以下	25	9.7↓	12.6	8.6↓
POEM 自覚症	最重症 20～28	24	19↓	3↓	6





